

言語情報処理研究 (その2)

2 単位 3 年 (後期), 4 年 (後期)

中島 浩二・准教授 / 社会創生学科

【授業目的】 言語コーパスとは何か理解する。また、コンピュータのツール (KWIC コンコーダンサー等), Unix コマンド, プログラミング言語 (Perl) を利用して言語コーパスを分析する技能を身につける。

【授業概要】 コンピュータを用いた言語コーパス分析

【キーワード】 *Perl*, コーパス言語学

【履修上の注意】 基本的なパソコン操作力を前提とする。前期と後期は内容的に連続しているため、前期・後期とも受講することが望ましい。

【到達目標】 コンピュータ言語 Perl を使って、言語情報処理のために必要な基本的アルゴリズムを習得し、自分で実際に言語処理プログラムが作成できるようにする。また、文字列処理のための便利なコマンドが標準的に用意されている Unix という OS の仕組み・使い方を理解することにより、言語情報・文字列をコンピュータで処理するための実践的スキルを身につける。

【授業計画】

1. 正規表現
2. 関数
3. モジュール
4. ファイル操作
5. 応用プログラム作成 (文字列の加工, 頻度表の作成, KWIC 出力, etc.)

【成績評価】 授業への参加度および定期試験による。

【再試験】 なし

【教科書】 「独習 Perl 第2版」(武藤健志・トップスタジオ編著:SHOEISHA)

【WEB 頁】 <http://uzu.ias.tokushima-u.ac.jp/staff/nakasima/>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218565>

【連絡先】

⇒ 中島 (総合科学部 1 号館 (1S11), nakasima@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜 16:10-17:10)